

地震がきたら、どうする？

慌てないためのヒント



令和6年能登半島地震被害の様子

令和6年能登半島地震や、昨年に本市が津波注意報の対象地域となったカムチャツカ半島付近を震源とする地震など、国内外で大きな地震の発生が続いています。今一度、地震が発生した際の避難行動を確認しましょう。

問 危機管理室
(☎228-7605 FAX222-7339)



堺市で大きな被害が想定される地震

- ・南海トラフ巨大地震
- ・上町断層帯地震

どちらの地震も震度6弱以上が予想され、木造住宅などは倒壊の恐れもあります。

想定される被害状況は
こちら→



命を守るカギは「備え」です。
自分の生活範囲の状況を事前に確認しておきましょう。
住まいの耐震化などの補助制度を
12ページで紹介しています。

防災マップ
マスコットキャラクター「かも太」

緊急地震速報

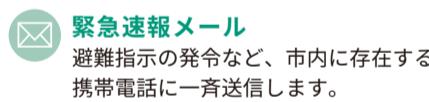
地震発生！



1~3分 摆れが収またら家族で声を掛け合い、お互いの安全を確認する



3~10分 大きな地震の後には、引き続き揆れが発生する可能性があるので、情報を収集する



10分~数時間

家屋倒壊の危機などがあれば避難する

近所の安否確認

地域で協力

避難する前に確認



地震発生時、
どこにいるか分かりません。



もしもに備えて
想像してみよう！

寝ていたら

寝ていたら



仕事・授業中なら

倒れそうな家具の近くや電灯の真下などから離れましょう。



電車に乗っていたら

つり革や手すりにつかまり、揆れや急停車に備えましょう。



買い物中なら

買い物カゴやカバンで頭を守り、店の方の指示に従いましょう。



ビル街を歩いていたら

ガラスの破片や看板などの落下物に注意しながら、近くの安全な場所に避難しましょう。



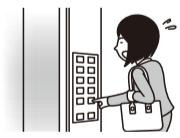
住宅街を歩いていたら

ブロック塀・門柱の倒壊、ガラス・瓦の落下、切れた電線などに注意しましょう。



エレベーターの中にいたら

すぐに全ての階のボタンを押しましょう。閉じ込められた場合は、非常用連絡ボタンで通報してください。



津波の危険がある地域にいたら、できる限り海や川から離れる

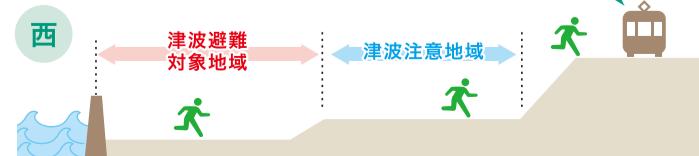
南海トラフ巨大地震が発生した場合、およそ100分後に約1mの津波の到達が予想されています。

津波の危険地域など
詳しくは→



水平避難

JR阪和線を目標に、東側の高い場所に徒歩で避難する。



垂直避難

遠くまで避難できない場合は、近くの津波避難ビルなど丈夫で高い建物の3階以上へ移動する。



津波避難ビルとは



津波発生時に高台に避難できない場合に、一時的に避難できます。

←津波避難ビルのマーク